

北半球で決まった向き

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール：初めて読む英文から、大意と必要な情報を制限時間内につかむ / 本文はこの教材のための書き下ろし（初見用）です。

Look at a clock. The hands go to the right, and we call that direction clockwise. Why that way and not the other?

The answer is older than clocks. Before clocks, people told the time with a sundial. A stick stands in the sun, and its shadow moves as the sun moves across the sky.

Here is the part that matters. In the north half of the world, the sun passes through the southern sky, so the shadow of the stick moves from left to right. The first mechanical clocks were built in that half of the world, and they were made to copy the shadow people already knew.

South of the equator, the shadow turns the other way. If clocks had been invented there, "clockwise" would mean the opposite of what it means now. A few shops in Australia sell clocks that run backwards, and people there find them easy to read.

So the next time a rule looks natural, try one question on it. Was it chosen, or did it just come first?

〔語注〕 clockwise＝時計回り（右回り） sundial＝日時計 shadow＝影 equator＝赤道

設問 本文の内容に合うものを選ぼう。

(1) この文章がいちばん伝えたいことは？ 思考・判断・表現 答え（ ） 3点

- ア 右回りは、人の目にいちばん読みやすい向きだと分かったからだ
- イ 南半球では時計がほとんど使われていない
- ウ 日時計のほうが機械式の時計より正確だ
- エ 時計の向きは、北半球の日時計の影から受けついだものだ

(2) 北半球の日時計について、本文の内容に合うものは？ 知識・技能 答え（ ） 3点

- ア 影は左から右へ動く
- イ 影は右から左へ動く
- ウ 一日じゅう影は動かない
- エ 影は真上から真下へ動く

(3) オーストラリアについて、本文が述べていることは？ 知識・技能 答え（ ） 3点

- ア 日時計が使われていない
- イ 逆回りの時計を売っている店がある
- ウ 売られている時計はすべて逆回りである
- エ 時計を読める人が少ない

(4) 筆者が最後にすすめているのは？ 思考・判断・表現 答え（ ） 3点

- ア 決まりを見たら、選ばれたのか先にあっただけかを問う
- イ 日時計を自分で作って確かめてみる
- ウ 南半球へ行って、時計がどちら回りかを自分で確かめる
- エ 古い決まりはできるだけ変える

北半球で決まった向き（基礎） | 解答と出題のねらい

解答

(1)	エ	第3段落 they were made to copy the shadow people already knew.
(2)	ア	第3段落 the shadow of the stick moves from left to right.
(3)	イ	第4段落 A few shops in Australia sell clocks that run backwards。ウは「すべて」が言い過ぎ。
(4)	ア	最終段落 Was it chosen, or did it just come first?

出題のねらい 定期テストに移すときの観点マップ

「決まりごとには理由があり、その理由はしばしば偶然に近い」という型の英文です。第2～3段落に因果の連鎖（日時計→影の向き→文字盤）が入っているので、明示情報の設問がそのまま「順を追って読めているか」の検査になります。この英文は読んだあとの活動に移しやすく、「もし南半球で時計が発明されていたら」を英語で書かせると、意見文の型の練習になります。

設問	型	観点	テストでの使い方
(1)	大意（スキミング）	思考・判断・表現	概要把握。「便利だから」ではなく「由来」を選べるか
(2)	明示情報	知識・技能	因果の連鎖の読み取り。影の動く向きを正確に取る
(3)	明示情報	知識・技能	例外（南半球・逆回りの時計）の読み取り
(4)	筆者の提案	思考・判断・表現	結論段落から「読者にできること」を選ぶ

3つの版の使い分け

同じトピック・同じ設問構造で、英文の語彙・構文と選択肢の言語だけを変えてあります（基礎=選択肢も日本語／標準=選択肢が英語／発展=設問も英語）。①クラスの帯に合わせて選ぶ ②同じクラス内で配り分ける ③基礎→標準→発展と日を空けて再挑戦—の3通りの使い方ができます。正解の記号は版ごとに違います（配り分けのときの写し合い対策にもなります）。

